

令和4年度 卒業証書授与式

在校生送辞 <全文>

徐々に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられる頃となりました。

酒田市立酒田看護専門学校第11回生の皆さま、本日はご卒業誠におめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。この佳き日に在校生全員が、新たな道へと進んでゆく先輩たちの門出をお祝いできること、とても嬉しく思います。

振り返れば2年前、入学したばかりで不安と緊張でいっぱいだった私たちに、先輩たちは優しく声をかけてくださいました。そのことがとても心強く、すぐに学校生活に馴染むことができました。

「看護の日」のグループワークでの先輩たちの姿も忘れられません。医療や看護についての意見を述べ、ディスカッションする様子にただただ感動し、憧れを抱いたものです。毎日の学習に真剣に取り組み、患者さんとのかかわりの中で学びを深めていることがうかがえ、1年後の自分の姿をイメージすることができました。

また、今年度から規模と活動内容を拡大して臨んだオープンキャンパスでは、実習や国家試験の勉強でたいへんな中、先輩たちは役割を快く引き受けてくださいました。そして当日は、来校者の方々に笑顔で丁寧の接する様子を見てとても頼もしく思いました。

先日行われた「ケーススタディ発表会」では、3年間の学びの集大成として、おひとりおひとりが自己の看護観を堂々と発表されていました。病気や障害を抱えながらもその人らしく生活することを支える—そのことがいかに難しく、いかに尊いことか、先輩たちのケーススタディから改めて考えることができました。そして私自身、これから出会う患者さんやそのご家族に真摯に向き合い、自分を内省しながら看護を深く探求しようと決意しました。

先輩たちが、ここ酒田市立酒田看護専門学校で過ごした3年間は「コロナ禍」の3年間だったと思います。私たち2年生・1年生も少なからず「コロナ禍」の影響を受けています。先の見通せない不安もありましたが、そういうとき「先輩たちはどうしていたんだろう」と思い、先輩たちの明るく、元気な姿を見て「大丈夫」と自分たちを励ましていたような気がします。ですので、私たちはいつも先輩の姿を目標にして、先輩たちの背中を追いかけていたんだなあ…と今改めて実感しています。来月には私たち2年生が最高学年となります。私たちも後輩にとって目標となる存在でいられるよう、先輩たちが築いてこられた伝統と校風を引き継いでいきたいと思っています。

最後になりましたが、皆さまのご健闘とご活躍をお祈り申し上げ、在校生代表の言葉とさせていただきます。

本日は、ご卒業おめでとうございます。

令和5年3月4日

在校生代表

酒田市立酒田看護専門学校 第12回生
市原 日和